

平成29年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	小松島老人いこいの家建設事業			整理番号	—
				担当課係	市民生活課 公共交通・生活支援担当
事業予算費目	款	3	民生費	記入者職・氏名	
	項	2	老人福祉費	内線等	159
	目	1	老人福祉総務費	事業区分	臨時事業
	大事業	19	小松島老人いこいの家建設事業	事業期間	期間限定複数年度 平成 29 年 ～ 31 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	小松島市老人いこいの家条例、厚生省社会局長通知（昭和40年社老第88号）				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

高齢者の心身の健康増進を図る目的で設置された老人いこいの家は市内に3館あり、いずれも市の指定避難所に指定されている。

小松島老人いこいの家は、芝田公民館としての機能も有しているうえに芝田学童保育クラブも利用しており、年間を通して使用頻度の高い施設であるが、昭和51年に建設された旧耐震基準による建築物であり、老朽化が著しい。また、駐車場も狭く利便性に支障もきたしていることから、建て替えを行うものである。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	市内の老人いこいの家のうち、建築年が古く老朽化が著しい小松島老人いこいの家について、建て替えを行うもの。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	建て替えにより、市内の高齢者や地域住民が安心して施設を利用でき、高齢者福祉や社会教育の推進に資するだけでなく、地域の避難所としての機能強化も図ることができる。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	5. 健やかな暮らしづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	② ひとりひとりが輝けるまちづくり
			中項目	5-2地域福祉の充実
			小項目	生きがいつくり・社会参加の促進
<p>(理由)</p> <p>老人いこいの家は、高齢者の心身の健康増進を図るために、教養の向上やレクリエーションの場として整備された施設である。</p> <p>多様で多彩な社会経験を持つ高齢者が、それらの経験を社会活動を通じて地域に還元することで、地域の活力が増すだけでなく、高齢者自身の生きがいつくりや社会参加の促進につながる。それらの活動を行う場として、いこいの家の果たす役割は大きい。</p>				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

県内他市も老人いこいの家を単独若しくは複合施設として運営しており、施設の更新や統廃合について検討が必要な時期に来ている。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象（誰、何を対象にしているのか）
	市内の60歳以上の住民
事業の意図	意図（事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか）
	建て替えを行うことで、高齢者や地域住民が安心して生きがいづくりなどの場として活用できる。また、避難所としての機能も強化される。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	（市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか）
	地元住民は葬斎場といった迷惑施設を受け入れていることもあり、老朽化した老人いこいの家についての建て替え要望は強い。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか？	（社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか）
	老人いこいの家は高齢者の心身の健康増進を目的として建設された施設であるが、施設の利用形態としてはコミュニティ施設や公民館などと大きな差はない。現在の小松島老人いこいの家も、芝田公民館との複合施設であり、公共施設を取り巻く状況から考えても、施設の統廃合や複合化が進んでいくものと思われる。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

			全体計画	29年度	30年度	31年度	32年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0	0					
		地 方 債	7,500	7,500					
		その他（利用者負担等）	0	0					
		一 般 財 源	672	672					
	関連事業費	A 直接事業費（千円）	8,172	8,172	0	0	0	0	
		人件費	正 規 職 員 数	0.10 人	0.10 人	人	人	人	人
			職 員 人 件 費 ①	744	744				
			臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	0.00 人	人	人	人	人
			臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0	0				
		B 人件費計（千円）①+②	744	744	0	0	0	0	
A + B		8,916	8,916	0	0	0	0		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> ある	理由	小松島老人いこいの家は、公民館機能のほか施設内に芝田学童保育クラブもあるため、市内の公共施設でも有数の利用頻度を誇る施設であり、老朽化した施設に対する建て替えの必要性は高い。 また、昭和51年に建設された旧耐震基準の建築物であるため、避難所としての機能強化を図るという側面から考えても事業実施の必要性は高いと言える。					
		a <input type="radio"/> ない							
	② 類似事業との整理統合はできないか？	<input checked="" type="radio"/> できない	理由	すでに芝田公民館としての機能も有した複合施設であり、これ以上の整理統合は困難である。					
		a <input type="radio"/> できる							
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> ない	理由	限られた財源のなかで、各関係団体の要望に応えられるような施設設計に取り組むこととしており、さらなる向上は難しい。					
		a <input type="radio"/> ある							
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。									
有効性	①								
	②								
	③								
所属長による総合的なコメント									
老朽化の進行、耐震化の必要性、地元住民の要望など、施設の利用頻度を考慮する中で早急に対応すべき事業である。複数の性質を併せ持つ施設であることから、所管部署との協議を密に行いつつ、関係団体の意見を踏まえて建替えを推進する。									